

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年10月1日更新

事務事業名		スマートIC整備事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	政策部	課長名	富加美尚悟
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	まちづくり戦略室	担当者名	後藤章博
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	戦略班	(内線)	1233
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11531	法令根拠	成果優先度評価結果：③ コスト削減優先度評価結果：⑪	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 23 ~ 27 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域間交流・広域交流の拠点整備のための北熊本SAにスマートICを整備する事業。 これまで関係機関(国土交通省、NEXCO西日本、熊本県等)と協議を行い、平成23年度3月に国土交通大臣より連結許可を受けた。事業の許認可を受けて、平成23年度は測量設計業務を実施しており、平成24年度に用地買収、埋蔵文化財発掘調査に着手することとしている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	スマートIC本体及びアクセス道路の整備費、用地買収、埋蔵文化財発掘調査に伴う熊本市への負担金の支出拡充。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 拡張
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
市民・関係者・関係機関との協議及び調整に係る業務 測量・設計及び整備に係る業務	市民・関係者・関係機関との協議及び調整に係る業務、測量・設計及び整備に係る業務	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 関係者との協議回数		建設課へ事業移管したことに伴う減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
北熊本スマートIC整備事業	箇所	→ ア: スマートIC整備箇所数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
計画のとおり整備される。	箇所	→ ア: 整備されたスマートIC数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~27年度
計画されたスマートICに対して、整備されたスマートIC箇所数を指標とした。		152,992

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
①活動指標	ア	回	0	10	10	10	10	10	10	10	
②対象指標	ア	箇所	0	0	1	0	1	1	0	0	
③成果指標	ア	箇所	0	0	1	0	1	1	0	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円			12,800					
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	4,554	1,368	778	3,432				
		(A)のうち指定経費	千円	4,554	1,368	13,578	3,432	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	1,368	13,578	3,432	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	2	0	2	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	400	250	0	24	0	0	0	0
(B)人件費計		千円	1,592	1,030	0	96	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,146	2,398	13,578	3,528	0	0	0	0	

事務事業名	スマートＩＣ整備事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	------------	-----	-----	-----	----------

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度より建設課へ事務事業を移管した。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>平成24年度より建設課へ事務事業を移管した。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						